

動物実験に関する検証結果報告書

公立大学法人青森県立保健大学

動物実験に関する外部検証事業

(公益社団法人日本実験動物学会)

2026年3月

公立大学法人青森県立保健大学  
学長 吉池 信男 殿

貴機関における動物実験の実施体制に関して、提出された自己点検・評価報告書に対する検証結果を通知します。

公益社団法人日本実験動物学会  
理事長 小倉淳郎



対象機関：青森県立保健大学  
申請年月日：2025年7月2日  
訪問調査年月日：2025年11月21日  
調査員：松田幸久、佐々木宣哉

#### 検証の総評

青森県立保健大学は看護学科、理学療法学科、社会福祉学科及び栄養学科の4学科と大学院として健康科学研究科を有する学生数約950名の医療系大学である。動物実験は、栄養学科及び理学療法学科の2学科と大学院の学生及び教員により実施されている。文部科学省の「研究機関等における動物実験等の実施に関する基本指針（以下「基本指針」という。）」におおむね適合した「青森県立保健大学動物実験規程（以下「機関内規程」という。）」に則して、動物実験計画書は動物実験委員会において適正に審査され、学長の承認の下、適正に動物実験が実施されている。実験動物の飼養保管は、環境省の「実験動物の飼養及び保管並びに苦痛の軽減に関する基準（以下「飼養保管基準」という。）」を遵守し、適正に実施されている。また、飼育作業は外部業者により適正に行われており、動物実験の適正な実施及び3Rsに対する意識も高い。教育訓練は、教員及び学生を対象に適正に実施されており、教員には再教育を義務づけていること、学生には終了後に小テストを実施していることは評価できる。しかしながら、前回の外部検証において改善に向けて指摘した事項（以下「前回指摘事項」という。）への対応が十分でない箇所が一部見られる。機関内規程に最新の情報を加え、関連様式を整備し、また、情報公開の開示内容などを再確認し、更なる適正な動物実験の実施体制を構築されたい。

## 検証結果

### I. 規程及び体制等の整備状況

#### 1. 機関内規程

1) 機関による自己点検・評価結果
<ul style="list-style-type: none"><li><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する機関内規程を定めている。</li><li><input type="checkbox"/> 機関内規程を定めているが、一部に改善すべき点がある。</li><li><input type="checkbox"/> 機関内規程を定めていない。</li></ul>
2) 自己点検・評価の妥当性
機関内規程が定められ、その内容はおおむね基本指針及び飼養保管基準に則している。また、前回指摘事項を踏まえ、公私立大学実験動物施設協議会（以下「公私動協」という。）の雛形第2版をもとに2022年1月に改正され、学長の責務の記載及び適用除外の削除などがなされている。したがって、機関内規程について、自己点検・評価の結果は妥当である。
3) 検証の結果
<ul style="list-style-type: none"><li><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する機関内規程が定められている。</li><li><input type="checkbox"/> 機関内規程は定められているが、一部に改善すべき点がある。</li><li><input type="checkbox"/> 機関内規程が定められていない。</li></ul>
4) 改善に向けた意見
公私動協が公開する最新の機関内規程（雛形）を参考に、機関内規程の改正を検討されたい。また、機関内規程の理解促進のために、機関内規程に則した組織体制図を作成することを推奨する。

#### 2. 動物実験委員会

1) 機関による自己点検・評価結果
<ul style="list-style-type: none"><li><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する動物実験委員会を設置している。</li><li><input type="checkbox"/> 動物実験委員会を設置しているが、一部に改善すべき点がある。</li><li><input type="checkbox"/> 動物実験委員会を設置していない。</li></ul>
2) 自己点検・評価の妥当性
機関内規程に基づき動物実験委員会が設置され、「青森県立保健大学動物実験委員会規程（以下「動物実験委員会規程」という。）」に動物実験委員会の任務や委員会の構成について記されている。また、基本指針で求められる3要件の委員により動物実験委員会が構成されている。したがって、動物実験委員会について、自己点検・評価の結果は妥当である。
3) 検証の結果
<ul style="list-style-type: none"><li><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する動物実験委員会が置かれている。</li><li><input type="checkbox"/> 動物実験委員会は設置されているが、一部に改善すべき点がある。</li><li><input type="checkbox"/> 動物実験委員会は設置されていない。</li></ul>

4) 改善に向けた意見

特になし。

3. 動物実験の実施体制

1) 機関による自己点検・評価結果

- 基本指針に適合し、動物実験の実施体制を定めている。
- 動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。
- 動物実験の実施体制を定めていない。

2) 自己点検・評価の妥当性

機関内規程で動物実験の立案、審査、結果報告等の手続が規定されている。これらの手続に必要な「動物実験計画書」「動物実験計画（変更・追加）承認申請書」「動物実験結果報告書」が定められている。したがって、動物実験の実施体制について、自己点検・評価の結果は妥当である。

3) 検証の結果

- 基本指針に適合し、動物実験の実施体制が定められている。
- 動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。
- 動物実験の実施体制が定められていない。

4) 改善に向けた意見

「飼養保管施設設置申請書」「実験室設置申請書」「施設等廃止届」の様式を追加することを検討されたい。動物実験計画書に使用数の根拠欄を新設し、必須記入項目とすることが望ましい。

4. 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制

1) 機関による自己点検・評価結果

- 基本指針に適合し、安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めている。
- 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。
- 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めていない。
- 該当する動物実験を行っていないので、実施体制を定めていない。

2) 自己点検・評価の妥当性

安全管理に注意を要する動物実験は行われていない。したがって、安全管理に注意を要する動物実験の実施体制について、自己点検・評価の結果は妥当である。

3) 検証の結果

- 該当する動物実験の実施体制が定められている。
- 該当する動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。
- 該当する動物実験の実施体制が定められていない。
- 該当する動物実験は、行われていない。

4) 改善に向けた意見

特になし。

5. 実験動物の飼養保管の体制

1) 機関による自己点検・評価結果

- 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検・評価の妥当性

飼養保管施設は実験動物飼育室Ⅰ及びⅡの2か所であり、実験動物管理者が配置され、「青森県立保健大学動物実験及び飼養保管マニュアル（以下「動物実験及び飼養保管マニュアル」という。）」及び「青森県立保健大学動物実験における災害対策マニュアル」も定められている。したがって、実験動物の飼養保管の体制について、自己点検・評価の結果は妥当である。

3) 検証の結果

- 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

4) 改善に向けた意見

特になし。

6. その他（動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果）

青森県立保健大学は、2019年度に「第2期外部検証プログラム」に基づく外部検証を受検し、今回は2度目である。

## II. 実施状況

### 1. 動物実験委員会の活動状況

1) 機関による自己点検・評価結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に機能している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検・評価の妥当性
動物実験委員会は、動物実験計画書を持ち回り委員会で審査しており、また年度頭初に一堂に会するか、あるいはウェブ会議が開催され、議事録も保存されている。したがって、動物実験委員会の活動状況について、自己点検・評価の結果は妥当である。
3) 検証の結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に機能している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
4) 改善に向けた意見
特になし。

### 2. 動物実験の実施状況

1) 機関による自己点検・評価結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に動物実験を実施している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検・評価の妥当性
機関内規程に基づき、2024 年度は 7 件の動物実験計画書が審査され、それらの実験結果報告書も提出され、適正に実施されている。したがって、動物実験の実施状況について、自己点検・評価の結果は妥当である。
3) 検証の結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に動物実験が実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
4) 改善に向けた意見
動物実験責任者に「動物実験の自己点検票」（様式 2-1）の提出を義務付けることが望ましい。

### 3. 安全管理に注意を要する動物実験の実施状況

1) 機関による自己点検・評価結果
<input type="checkbox"/> 基本指針に適合し、当該実験を適正に実施している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。

<input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。 <input checked="" type="checkbox"/> 該当する動物実験を行っていない。
2) 自己点検・評価の妥当性 安全管理に注意を要する動物実験は行われていない。したがって、安全管理に注意を要する動物実験の実施状況について、自己点検・評価の結果は妥当である。
3) 検証の結果 <input type="checkbox"/> 該当する動物実験が適正に実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。 <input checked="" type="checkbox"/> 該当する動物実験は行われていない。
4) 改善に向けた意見 特になし。

#### 4. 実験動物の飼養保管状況

1) 機関による自己点検・評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検・評価の妥当性 使用動物は実験動物生産業者から導入する SPF のマウス・ラットのみであり、微生物検査も年に1回実施されている。実験動物管理者が、搬入・順化・環境条件等を含む動物実験飼養保管マニュアル及び飼養保管基準に従って適正に飼養保管を実施している。また、実験動物飼養保管状況の自己点検票が毎年提出され、重大な問題はなく、必要な指導が行われている。したがって、実験動物の飼養保管状況について、自己点検・評価の結果は妥当である。
3) 検証の結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
4) 改善に向けた意見 火災、地震等の緊急時の対応を、飼養保管施設及び実験室の見やすい場所に掲示することを検討されたい。

#### 5. 施設等の維持管理の状況

1) 機関による自己点検・評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に維持管理している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
---

2) 自己点検・評価の妥当性 2 か所の飼養保管施設は専用の空調設備により温湿度が管理され、その設備管理は専門業者により定期的になされている。飼養保管施設の温湿度の点検は、実験動物管理者が確認することにより適切に実施されている。また、実験室の維持管理も動物実験及び飼養保管マニュアルに従って適切に管理されている。したがって、施設等の維持管理の状況について、自己点検・評価の結果は妥当である。
3) 検証の結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
4) 改善に向けた意見 特になし。

6. 教育訓練の実施状況

1) 機関による自己点検・評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検・評価の妥当性 教育訓練は、教員及び学生を対象に実施されている。毎年1回、2年次学生に向けて学生実習前に実施され、終了後に小テストを実施して習熟度を確認している。前回指摘事項を踏まえ、教員に5年ごとの再教育が義務付けられ、さらに実験動物管理者は、公私動協の実験動物管理者の教育訓練を受講している。したがって、教育訓練の実施状況について、自己点検・評価の結果は妥当である。
3) 検証の結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
4) 改善に向けた意見 特になし。

7. 自己点検・評価、情報公開

1) 機関による自己点検・評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
---

2) 自己点検・評価の妥当性

情報公開は、ヘルスプロモーション戦略研究センターのウェブサイトに掲載され、その内容は基本指針で例示する内容をおおむね満たしている。また、自己点検・評価は2019年度より毎年実施され、前回の外部検証結果報告書も掲載されている。したがって、自己点検・評価、情報公開について、自己点検・評価の結果は、妥当である。

3) 検証の結果

- 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

4) 改善に向けた意見

国立大学法人動物実験施設協議会、公私動協が要請する項目を公開されたい。また、教育訓練の実施概要に、人獣共通感染症に関する項目を追記されたい。

8. その他

(動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果)

特になし。